



広報

おゆみ

第66号

令和3年5月14日

発行：町内総務部

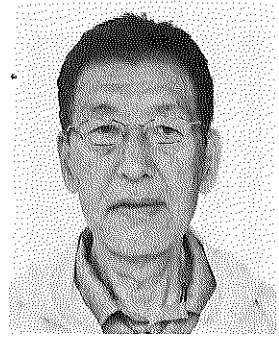
生実町会館 ☎268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

コロナ禍に学ぶ、新しい社会



会長 丸嶋 義雄

新型コロナウイルスは、各国で多くの人命と健康を奪い、経済に深刻な打撃を与え、私たちの生活を激変させた。

新型コロナウイルスに対する根本的な対策が望めずワクチンに頼る現在、私たちは新型コロナウイルスと共存、共生をしていくことを余儀なくされているなか、新年度を迎えることになりました。

ウイルスと共存、共生は決してこちらから望んだものではありません。そのため、新しい生活様式の中では何かと不安を抱えている人も多いでしょう。誰にもこの状況がいつまで続くかわからないことで更に不安と不満を生み出しやすくなっていると言えるかもしれません。

コロナ禍は、我々に多くの事を気付かせました。例えば、

一 これまであたりまえのことと認識し、また、社会活動の基盤を捉えてきた人と人との緊密なコミュニケーションは、時として制限することが求められるものであること

二 信頼を寄せてきた広域な移動やサブライチエーションは、時として機能し得なくなるもの。など

コロナ禍後は、家庭にも、教育にも、仕事にも、更に都市の在り方においても、デジタルシフトや強靱性を高めるなど、これまでよりも良い「新しい社会様式」を期待することになります。

町民に直接関わる問題等は、行政の積極的な協力により進んでいます。生実神社から赤井町に抜ける道と、生実町中宿通りの舗装整備は完了しました。

生浜東小学校の東門南側の住宅地は「急傾斜地崩壊危険地域」に指定されており、大雨、台風の際は生実町消防団に出動をお願いし警戒に当たっていました。大規模災害に備え昨年度「生実町大覚寺」「グリーンアース」様の協力のもとに倒木の整備や樹木の伐採を実施し、一時的な危険回避はできました。

生実町では数年前から分散避難（特に高齢者）が必要との考えから、避難訓練の際には、三カ所に分けて実施しています。

生実町会館は、公的避難所の認定を千葉市へ申請中です。昨年は自主防災の強化として防災倉庫を一基増設し、備蓄品や災害時に必要な機材器具を追加購入しました。

新型コロナウイルスと共存・共生しながら災害のリスクとどう向き合うかが問われています。どこで避難生活をして、最低限度の健康管理ができるように町内会としての準備を進めています。

町内会が取り組んでいかなければならぬことが多くあるなか、地域で活動する担い手不足が問題となっています。町内会に対する役割や期待が増える一方、人材確保が難しく、特に諸団体活動の機能が失われていくことが懸念されています。

今も、そして次の世代にも、「生実町に住んでよかった」と思われる地域にするために、身の回りの問題を町民の皆様と一緒に考え、解決していきたいと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。

副会長 長谷川 功

町内会会員の皆様には、日頃、町内会活動にご理解・ご協力を頂き、ありがとうございます。

四月二十四日（土）に新型コロナウイルス対策のため、三回に分けて行われた町内会総会において、今年度の予算及び行事予定が承認され、令和三年度の町内会活動がスタートしました。六月の町内会体育祭・八月の盆踊り花火大会は中止され、十月の祭礼子供神輿については検討中となり、前年度につき活動を大きく制限される行事予定となつてしまいました。この制限される状況下も、役員一同安心・安全で住みよい街づくりを目指し活動して行きたいと思っております。何か、ご意見等ございましたら、お近くの役員まで連絡をお待ちしております。

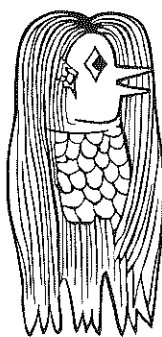
副会長 佐藤 薫

本年度、引き続き副会長を務めさせていただきます。日頃より町内行事・活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

しかしながら、昨年度も、すべての行事が中止となり、制限・自粛の生活が余儀なくされました。

今年度も、花火大会・町内運動会が中止となり、どの様な活動が出来るかわかりませんが、会員の皆様が普段通りの生活が送れる様、一日でも早い終息を願います。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!

感染拡大

— COVID-19 —



各部長からの メッセージ

総務・会計部

鏑木 洋司

春陽の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、依然としてコロナ終息の見通しが立たない中、四月二十四日(土)に分散開催で行われました町内会総会におきまして今年度の予算及び行事予定が承認され令和三年度の町内会活動がスタートしました。

残念ながら町内会三大会事のうちの春の町内体育祭、夏の盆踊り花火大会は今年度も中止となり、秋の祭礼行事も感染状況をみからの判断ということになりました。今は気を緩めることなく引き続き一人ひとりが感染予防対策をしつかりと実践していくことが重要になります。

また、組長さんによる町内会費の集金につきましては昨年度からの町内会行事が中止になっていることを踏まえ今年度は町内会費を二割減額(月額五百円から四百円)とし、前期・後期分を一回で徴収させていただきましたと思います。また、社会福祉協議会費・消防協力費も合わせて集金させていただきますのでご協力の程よろしくお願ひいたします。

一日も早くコロナが終息し町会行事に皆様の笑顔が戻ってくることを切に願っております。今後とも皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

環境部

部長 鏑木 良孝

町内の皆様方には、町内の美化活動にご協力頂きましてありがとうございます。新型コロナウイルスに変異種が登場して収まる傾向がなく、今年度も町内会行事が制限される心配です。

さて、環境部門の持ち場は「生実町町内会行事予定」に加えて生活に密着した部署なので新型コロナウイルスの感染防止対策に注意をしながら常時活動致します。

令和二年度は四十六件の事案を処理しました。内訳は、ごみステーション関連が二十二件、雑草関連が七件、樹木関連が六件、カーブミラー関連が四件、道路関連が三件、その他四件でした。ごみステーションとカーブミラー関連では繰り返されるケースも見られますが、何分広大な生実町を受け持っていますので、今年度もそれなりに昨年度並みの頻度が見込まれます。私有地の危険木や雑草などについては所有者に対応を度願いするなど皆様方のご理解ご尽力が不可欠な現場でありますので、ご協力を願ひ致します。

防災・防犯部

部長 増田 文夫

町内会会員の皆様には日頃より町内会活動にご協力、ご指導を頂き感謝申し上げます。

防災・防犯部では、前年度に防災備蓄倉庫の新設、備蓄品の更新・充実、青色防犯パトロールの実施と講習会の開催、防犯街灯の点検、新規申請を行なってきました。

本年度も新型コロナウイルスの感染が拡大し、中止となる行事もあります。が、感染防止対策をしっかりと取り、町民の皆様と共に活動して安全・安心な生実町にしましょう。

今年度もご指導・ご協力をお願いいたします。

文教体育部

部長 名久井 源一

令和二年度の行事は、全て中止となりまして、文体部の活動は現在休止状態です。その反面、昨年度は危険箇所の樹木の伐採や道路の整備、防犯パトロールの強化等、環境防犯防災の面を重点的に町内会として活動できました。

本年度も昨年同様、緊急事態宣言の繰り返して、すでに町内体育祭、盆踊り、花火大会の中止が決定しております。

秋の祭礼行事の子供みこし、山車に閉じては、コロナの感染状況を見ながらということでの検討中です。

また、代替の行事も検討はしておりますが、やはり密の状態になりますので、なかなか踏み込めないのが現状です。

本年度は一つでも行事が出来る様、準備を進めていきたいと思っております。

皆様も御意見、アイデア等がありましたら、お寄せ下さい。

本年もよろしくお願ひ致します。

青年会

会長 秋元 利成

平素より青年会活動に多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の影響に

お見舞い申し上げますと共に、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

さて私共青年会は、平時においては町会行事への協力や、生実池の鯉のぼりあげ、生実神社奉納演芸大会、諸先輩方より受け継いだ伝統の継承など町内の皆様にも少しでも喜んで頂けるよう、関係諸団体と連携し多岐に亘った活動をしていきます。

青年会活動にご興味のある方や、賛同しご入会いただける方は、お近くの青年会員や執行部まで御連絡下さい。

今後とも青年会活動にご理解・ご協力を賜ります様、宜しくお願ひ致します。

婦人会

会長 田鎖 かつ子

若葉の候、町内の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

今だに新型コロナウイルスで様々な行事が制限されている状態が続いています。が、ようやくワクチン接種が始まるようになっていくらか希望が持てる時期になって来たかと思えば感染力の強い二重変異株、三重変異株が増えつつあると言っています。

この状況を踏まえ一刻も早くワクチン接種を受けられるといいですね。

また、一人一人が感染拡大防止に努める自覚を持つ事も大事だと思います。

婦人会は見守り・青パトなどを中心に今は活動していますが一日も早くいろいろな活動が安心してできる事を願うばかりです。

子ども会

会長 夏目 つかさ

新緑が眩しい季節となりました。

町内の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年度、子ども会会長を務める事となりました。最初は戸惑う事も多々あると思いますが、諸先輩方や各関係諸団体の皆様の力をお借りしながら、子ども会役員全員で協力して盛り上げていけるように頑張りますので、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

百寿会

会長 青柳 孝治

新緑が目眩しい季節となり本来ならば打つて出るところですが残念ながら三密、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出自粛等、今まで経験したことのない社会生活を強いられています。

四月一日現在会員数は七十二名(男性三十名、女性四十二名)平均年齢八〇・六歳と超高齢化、面倒をみる側から面倒をもらうような状況になりつつあります。

そのような状況の中で私たちは少しでも体を動かさなければ弱い体が一層弱ることになりますので平均年齢八〇・六歳に鞭打って全員ではありませんがコロナ感染症予防対策を講じながらグラウンドゴルフ、ゲートボール、輪投げ、輪踊り等に頑張っております。

昨年、市老連の協力を得て健康寿命をのばすための体力テストに二十三名が参加しました。内容は歩行、身体調整、手作業、姿勢変換の四種をテストした結果で自己年齢に対して若い

か、老けているのかを出してもらい今後の行動に役立てるもので大変参考になりました。

町内活動に少しでもお役に立てればと思っております。

尚、新会員の募集は常時行っておりまして、知り合いの百寿会の方にお声かけ下さい。入会申込書は町内会館受付にございます。

町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

防災会

会長 大塚 洋紀

桜の花も満開となり、花ふぶきが舞い、青葉が芽ぶき始め、春を感じる季節となりましたが、生実町内会の皆様方は、いかがお過ごしですか。

全国各地では新型コロナウイルスがまだまだ脅威をふるっており、千葉県も例外ではありません。

皆様方も三密を守りながらお過ごしのことと思います。生実町防災会におきましても各種行事を中止し、感染拡大が最小限になる様、自粛し活動が出来ませんでした。

このコロナウイルスが早く終息して町内会の皆様と今まで通りの生実町内会の活動が出来る様に防災会と致しまして、一杯努力して行きたいと思っております。これからの皆様のご支援、ご協力宜しくお願い致します。

生実町消防団

部長 木浪 賢一

新緑が美しく映える季節になり町内の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

昨年、一月末に感染が広まり始めた新型コロナウイルスが一年以上たった今でも収束しておらず、さらに変異株が発生しており、いつ収束するか分からない状況であります。

今まで通り、三密を回避し、マスクをしてアルコール消毒をし、感染をしないようしなければなりません。

私も消防団も活動が出来ない状況ではありませんが、毎月一日から十五日のいずれかの日に町内十三箇所に設置してある消火器を夜八時から防犯パトロールを兼ねて巡回しております。

消防団は常時、団員を募集しております。興味のある方、やってみたい方は、知り合いの消防団員、町会役員や諸団体の方に連絡して下さいますよう宜しくお願い致します。

終わりに、空気が乾燥し、火災が発生しやすい環境にありますので、火の元、火の取り扱いには十分ご注意ください。いますよう宜しくお願い致します。

女性消防団

部長 長谷川 久子

コロナ禍で、あらゆる活動の自粛が求められた令和二年度が過ぎ、新年度を迎えましたが、町内の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、消防に対するご理解と、ご協力を頂きまして感謝申し上げます。

新年度が始まりましたが、町内会においては、体育祭、盆踊り・花火大会の中止が決定しており、以前の活動には戻れておりません。一日も早いコロナの終息を願うばかりです。

本年度も、よろしくお祈り申し上げます。

スポーツ振興会

理事 北見 泰也

平素よりスポーツ振興会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により全ての行事が中止となり大変残念に思っております。今年度も未だに感染症の終息が見えない現状に町内会の皆様も不安な気持ちを抱えていることと思っております。その様な大変難しい状況のなかで様々なご意見を頂きながら今後の活動を行なっていきたいと思っております。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願いつつ町内の皆様と共に頑張つて参ります。

スポーツ振興会では一緒に活動してくれる方を男女問わず募集しておりますので、興味のある方は連絡をお待ちしております。

生實神社

総代代表 戸田 功夫

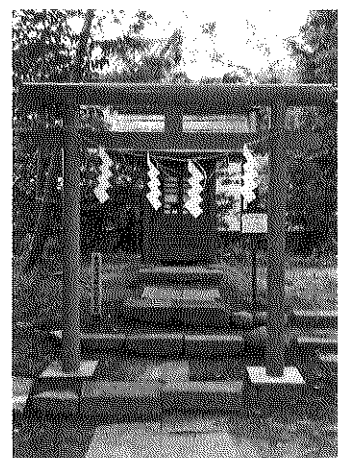
薫風の候、町内の皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は生實神社に對しまして、各段のご支援、ご協力をいただき心から御礼を申し上げます。

さて、子女神社の鳥居は、令和元年九月の台風十五号の暴風により倒壊破損し、仮設の鳥居で対応しておりました。

この度、春季祭礼に合わせ真新しい鳥居が秋元利夫様からご奉納されましたので、皆様にご報告させていただきます。

新年度は総代役員が半数交代し、新しい体制で左記のとおり年間行事を進めてまいりますので、今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお祈り申し上げます。



し上げます。なお、月例祭は諸般の事情によりまして第一日曜日・第三日曜日に変更させていただきます。

令和三年度
生實神社 年間行事
毎月第一・第三日曜日 月例祭
十月 九日(土) 湯立式
十月 十日(日) 秋季大祭
十一月七日(日) 七五三合同祈願祭
令和四年
元旦 (土) 歳旦祭
一月 八日(土) 毘沙門幣受式
三月十三日(日) 春季祈禱祭

民生・児童委員

関谷 由美子

新緑がまぶしく、風薫る頃となりました。

町内会の皆様には、日常より民生委員活動にご理解、ご協力を頂き有り難うございます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、暮らしに大きな制限や変化が求められています。当り前であった人との触れ合いが難しいものとなり、地域の行事、活動等も制限される状況です。サロンや交流活動等も自粛(中止)しています。

はやし連

代表 岸 健一郎

新緑の候、町内の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当はやし連に對しましてご理解、ご協力を賜り誠に有難う御座います。

昨年から続く、新型コロナウイルスの影響で町内行事がどのようになるかわかりませんが、本年度も町内会や各諸団体の皆様と協力し、生実神社の祭礼や町内行事に参加協力をさせてもらいます。

現在は、太鼓稽古を行っておりますが、コロナが収束し、平穩な日常に戻った際は、生実神社の社務所を借りて稽古をしていますので興味のある方は声を掛けて下さい。

本年も、よろしくお祈り申し上げます。

商工業会

会長 山本 広

日頃、生実商工業会会員店のご利用誠にありがとうございます。

今年度もまだまだ収束が見えないコロナ禍で厳しい環境ではありますが、会員一同、町会活動には積極的に参加をさせていただきます。

今年度も生実商工業会をよろしく願っています。

*新規会員募集中です！

お気軽にお声をかけてください！

あらためてよろしく
お願いいたします

淑徳大学参与・教授 磯岡 哲也

まん延防止等重点措置、緊急事態宣言など、コロナ禍の収束について、予断を許さない状況が続いています。切り札のワクチン接種の早期実施が希望されています。密を避け、不要不急の外出を控えるなど、個人個人の努力も求められております。生実町の皆さまにおかれましても、対応に忙殺されています。おかしやすること存じます。

多人数が一教室に集まり、県外通学者が少なくない大学でも、格段の対策が求められております。本学も文科省のガイドラインに沿った対応を注意深く実行しているところです。それらを乗り越えて、学生さんとともに町内会のイベントにはよく参画いたしたいと念願しております。

私ごとですが、四年の学長任期が過ぎ、教育研究に時間を振り向けられるようになりました。また生実町に行けることを楽しみにしております。あらためてよろしくお願い申し上げます。

生実商工業会

Table with 3 columns: 企業名, 営業品目, 電話. Lists various businesses like ヤマトデンキ, デリス, オートショップ トミザワ, etc.

令和3年度
町内合同会議 (総会)
終了

去る4月24日(土)今年度組長、町内会役員、諸団休役員による総会が開催され、議長に選ばれた戸田茂夫氏(12番4組組長)の明快且つ敏速な進行のもとに、令和3年度予算審議、各部の年間行事、会計監査の3名が選出されました。

会計監査

1番7組 組長 和田 一也氏
6番1組 組長 篠崎 義男氏
22番1組 組長 今屋 育英氏
尚、組長さんにおかれましては、町会活動の窓口としてこの一年、何かとご苦労おかけすると思っておりますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

六価クロム

水質検査のお知らせ

日時 7月4日(日曜日)

午前8時~10時

場所 生実町会館

生実神社

詳細は回覧板にてお知らせをいたしますが、時間等お間違えのないようにご協力お願いいたします。

生実のむかし ⑭

今井 公子

天保十年(一八三九)九月三日、十一月十九日まで、九代目藩主は初めてお国入りし、生実陣屋から生実(権名)濱野、花輪、平山、菅田と巡見・視察をし、全村へ先例の通り藩主から挨拶の御酒を配給しました。また、村人が催したイノシシ狩りのイベントを見物してから江戸へ戻りました。

さて、藩主は翌年も十月八日から生実陣屋で休暇を過ごし、十一月九日に、八十歳以上の老人に玄米一斗と銭三百文(七千四円)のお祝いを配給することを決めました。

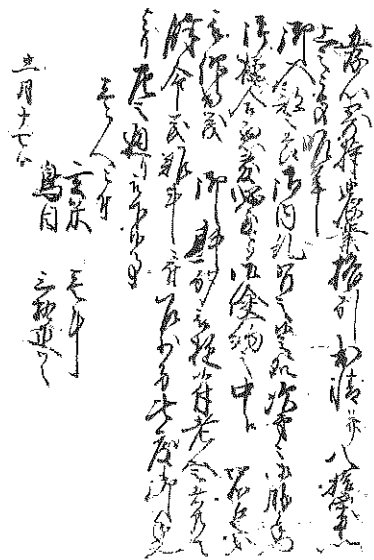
藩主は前年の初お国入りの特別祝儀として、「孝心奇特・農業格別出精(感心な親孝行者・特別に精を出して農業に励んだ者)」と八十歳以上の者」

へ褒美を出す心算でしたが、財政難と儉約中で中止にしました。しかし、「老人の者は、余命もはかり難いので少なながら」敬老祝いを決めたようです。

生実藩の御褒美は、天明八年(一七八八)正月に「身持ち宜しく実体(じつてい)まじめで正直・実直)で農業を怠らず励んだ者と書算芸術を心掛けた者」を対象とし、長谷村(現茂原市)の外山養叔へ学問に励んだということ褒美を出しています(五十二年後に苗字帯刀を許される)。

他には、寛政元年(一七八九)八月に生実藩は「孝行・奇特の者」の調査をしますから、御褒美が出たと思えます。

このように生実藩の褒美・褒賞は毎年のことではないので、褒賞者はその地域ではとても栄誉なことでも、尊敬されたことでしょう。



編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の収束に見通しが立たない中、町内会活動も自粛が続き町民の皆様とともに時間を過ごすこと

が難しい状況が続いております。行事運営には様々な変更が求められますが、これからは皆様安心して暮らせる生実町となるよう、町民の皆様がつながりあえる活動を模索してまいりますので、皆様のご協力を願っています。(総務)